

平成28年度 学校法人 三幸学園 名古屋ウェディング&ブライダル専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 山内朝子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 大塚 淳夫

1. 学校の教育目標

- ・技能と心の調和
- ・素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで、社会に貢献する人材の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・主体性を育む教育
- ・精皆勤率の向上
- ・退学率の低減
- ・検定合格率の向上
- ・掃除、挨拶の徹底
- ・アクティブラーニングの工夫、確立

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

・学校の理念や目的などは入学前保護者説明会などで話をして伝えているが、不参加の場合は書面のみ。また、継続的に伝え続けられていないため、浸透度が不明である。

② 今後の改善方策

・『学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想など』が保護者や地域の皆さまに周知できるよう、ビジョンポスターを1階エントランスで外へ向けて貼り出しをする。

③ 特記事項

・学園のミッション「人を活かし、困難を希望に変える」と、ビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」を掲げている。

・それを学生にも公開し、学園の目指す方向性を具体的に示している。

④ 委員コメント

・特になし。

(2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

① 課題

・グループウェアなど三幸学園全体としてシステム化に取り組み、浸透してきているが、しっかりと使いこなせていない方もいる。

② 今後の改善方策

・グループウェアの活用方法を浸透させる。

③ 特記事項

・なし

④ 委員コメント

・特になし。

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1

関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 課題

- ・クラス運営や教育技術などの能力向上の取り組みは、各個人に任せられている部分が多く、学校全体としての取り組みが個人能力で差がついている。

② 今後の改善方策

- ・教員の能力向上のために、研修の実施を計画的に実施していく。
- ・夏休みに教務研修、9月に分野研修予定。

③ 特記事項

- ・三幸学園独自の教育手法であるアクティブラーニングを導入し、能動的学習を積極的に行っている。
- ・産学連携や地域貢献への取り組みを行っている。
- ・企業インターンシップを導入し、学生が在学中から現場経験を積めるような仕組みづくりを行っている。

⑤ 委員コメント

・ウェディングプランナー科のインターンシップ制度があるため、就職後をイメージできている生徒が多いように感じるため、とても良い制度である。今年度よりブライダルコーディネーター科も始まるので、期待している。まずは学校生活の中で基本的なことを身に付けてもらい、実習で社会のことをさらに学べるようにしていただきたいと提案をいただいた。

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	②	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

① 課題

・H28年度は1年生の退学者が多かったため改善が必要。

② 今後の改善方策

・退学率低減のために、学校全体で精皆勤率の向上をはかる。そのために、担任会議等でクラスづくりをしっかりと実施できるように提案していく。

③ 特記事項

・なし

④ 委員コメント

・今の生徒は、精神的に弱い生徒、甘えている生徒が多いように感じる。そのため、少し嫌なことがあると退学してしまうのではないかと授業の中や実習で社会の厳しさを伝えて欲しい。また、社会の厳しさに対応できる人材を育成していただきたい。とご意見をいただいた。

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1

① 課題

・保護者との連携は今後強化していきたいものの1つ。入学前保護者会への参加率は昨年よりUPした。何かあったときだけの学校側からの連絡が大半になっている。

・卒業生への支援体制も同窓会サイトの立ち上げと同時に利用者が使用しやすい工夫が必要。

② 今後の改善方策

・卒業生の支援として『SANKO リンク』が各地区に支部を設置し本格的に始動し始めたため、卒業生にしっかり認知してもらえるようにしていくことが大切。

③ 特記事項

・なし

④ 委員コメント

・卒業生の離職率は気になる場所であるため、専門学校でせっかく学んだことをしっかりと長く活かせるようにした仕組みを作ってもよいのでは。例えば、大学等で実施している卒業生対象の講習会などの実施についてご提案をいただいた。

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

・特に大きな課題はない。

② 今後の改善方策

・なし

③ 特記事項

・企業インターンシップを導入し、在学中から現場経験を積める仕組みを取っている。

・全米プライダルコンサルタント協会と連携し、ハワイでの海外研修を行っている。【希望者のみ】

・結婚式に欠かせない着付けの授業についても企業連携し授業委託を実施。

⑤ 委員コメント

・防災については、どこでいつ、何が起こっても連絡が取れるように保護者等にも周知しておいた方がよいのではと、ご提案をいただいた。

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

・特に大きな課題はない。学生の立場に立って、学費などは出来る限り安くできるよう努力している。

② 今後の改善方策

・適性に継続していく。

③ 特記事項

・なし

④ 委員コメント

・特になし。

(8)財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

・なし

④ 委員コメント

・特になし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

・特に大きな課題はない。

② 今後の改善方策

・適性に継続していく。

⑤ 特記事項

・なし

⑤ 委員コメント

・特になし。

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

① 課題

・特に大きな課題はないが、今後地域貢献の公開講座などの実施については検討の必要あり。

② 今後の改善方策

・なし

③ 特記事項

・なし

④ 委員のコメント

・特になし。

(11). 国際交流(必要に応じて)

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4 ③ 2 1
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	④ 3 2 1
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 ② 1
学内で適切な体制が整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

・留学生を受け入れる体制は整えているが、入学希望者がほぼいないのが現状。

② 今後の改善方策

・留学生向けの進路相談会などへの戦略的な参加が必要。

③ 特記事項

・留学生向けの募集要項を作成。

・留学生学費支援制度(選考あり)

④ 委員のコメント

・特になし。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度はより主体的な学生を育成できるような取り組みをすると共に退学率の一層の低減を図っていきたい。そのためには昨年より実施している教員の教務力向上やクラス運営力の向上についてのより積極的な取り組みが必要不可欠である。また、名古屋ウェディング&ブライダル専門学校として、保護者や地域の皆さまにどのような人材育成をしているのか発信していき、学校⇄生徒だけではなく、生徒が保護者・地域の方からも見守っていただける環境づくりを実施していきたい。そして、接客業の基本である挨拶や清掃活動などより徹底していくことも心がけたい。

自己評価の結果は概ね問題ないが、細部をしっかりと点検し、地域や業界から必要とされる学校になるために課題をしっかりと把握し学校を運営していく必要がある。